

第36回 全国健康福祉祭とっとり大会 ～ねんりんピックはばたけ鳥取2024～

東京都の
シニア代表258名が
健闘しました!

昭和63年から開催されている全国健康福祉祭(愛称:ねんりんピック)は、60歳以上のシニアが出場できる全国大会です。第36回を迎える今年は、令和6年10月19日(土曜日)から同月22日(火曜日)まで、鳥取県内の19市町で開催され、選手や監督ら約1万人が参加し、テニスやマラソン、サッカー、囲碁等29種目で熱戦が繰り広げられました。

東京都からは、第28回シニア健康スポーツフェスティバルTOKYO(令和5年10月から11月まで実施)の上位入賞者及び各種目団体主催の選考会上位入賞者等から合計23種目258名の選手による選手団を結成し、出場しました。

今年度の総合開会式は、荒天が見込まれたため、式典会場をヤマタスポーツパーク陸上競技場から鳥取県民体育館に変更し、規模を縮小して実施されました。

東京都代表の選手は19日から始まった交流大会で、全国の仲間と切磋琢磨し、日頃の練習成果を思う存分発揮され、心に残る交流を行いました。その中で見事優勝の栄冠を手にしたのは、団体戦ではゲートボール「東くるめ」チーム、水泳(100m混合フリーレー)「東京都」チーム、バウンドテニス(チーム別対抗BTラリー戦)「花の都東京」チーム、個人戦ではマラソンの橋本 勝行選手、谷 真美選手、

水泳の秋山 由則選手、グラウンド・ゴルフの緒方 正幸選手です。準優勝に輝いたのは、団体戦ではサッカー「東京B」チーム、ダンススポーツ「東京都Aチーム」、個人戦ではマラソンの馬淵 敦子選手、水泳の近藤 志津世選手、石原 なおみ選手、ゴルフの谷口 修選手、健康マージャンの村井 博哉選手です。第3位に輝いたのは、団体戦ではサッカー「東京A」チーム、個人戦では水泳の森山 雄二選手、笠井 孝子選手、近藤 志津世選手、三浦 由香選手、石原 なおみ選手、マラソンの本山 睦美選手、磯間 浩幸選手、将棋の宮崎 武男選手、健康マージャンの北岡 恵選手です。また、大会期間中全勝されたのは、囲碁の中條 京子選手です。そして、種目ごとに表彰が行われている特別表彰において、最高齢者賞は、バウンドテニスの武田 東枝選手、eスポーツの豊富 満子選手、高齢者賞は、テニスの勝山 智子選手、eスポーツの植田 和子選手が受賞されました。大変喜ばしいことであり、東京都選手団の活躍に花を添えていただきました。東京都選手団はその他数多くの上位入賞を果たし、大健闘いたしました。上位入賞、特別表彰を受賞された皆様、おめでとうございました。

なお、次回、ねんりんピック岐阜2025(令和7年10月18日から21日まで)には、第29回シニア健康スポーツフェスティバルTOKYO(令和6年9月から11月まで実施)の上位入賞者などが出場を予定しています。

ねんりんピック体験記! たくさんの方からのご寄稿、ありがとうございました。

ローイング 檀上 敏夫さん

36回のねんりんピックの歴史の中で、ローイングが実施されたのは、第19回の静岡以来であった。天竜市(現浜松市天竜区)は、市長自らダムにポートコースを造り、高校選抜大会を誘致するほどポートの街であった。

一方、今回の米子市は、1900年旧制米子中学にボート部が創設されて以来、市民にボートが根付いている街であった。ボートの街は、米子や松江、松山、本荘のように、旧制中学校を中心に120年以上続いているところや、国体や国際大会を機にボートが定着したところもある。ボートの世界でもマスターズは盛んではあるが、市民スポーツよりも大学や実業団でアスリートとして活躍した人達を中心である。今回のように全国の市民レベルのボート愛好家が、老若男女米子に集まりボートを愛する米子市民の方々と交流できたことは、素晴らしい事でした。

悪天候で、開催が危ぶまれる中で、何とかして米子で漕いでもらいたいという、地元の人達に感謝いたしました。さて、四年後には東京都で開催されるとのこと。隅田川で発祥し、前回の東京五輪で、埼玉県戸田市に疎開し、今回の東京五輪で江東区海の森に帰還したボート。

三年後にはインターハイも控えています。全国のボートを愛する人達が東京に集まるのが楽しみです。

eスポーツ 豊富 満子さん

「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」のeスポーツ交流大会に東京代表として出場する機会をeスポーツ協会の方から戴きました。「健康スポーツ倶楽部西東京」としての活動をはじめ日も浅い私達が今回多くの地域の方々と交流を通してeスポーツが、高齢化の時代に向けた誰もが楽しめるスポーツのひとつであることに気づかされました。境港市とは2月にzoomで対戦。涙をのみました。

今回も参加順位は望んだ?ものではありませんが最高齢者賞・高齢者賞と2種類の賞を戴き大喜びを……水木ロードを散策して帰路につきました。忘れられない4日間をありがとうございました。

eスポーツの新たな気づきと共に参加者も増えフレイル予防の大きな要素になるのではと思われま

す。

グラウンド・ゴルフ 緒方 正幸さん

この大会において一番楽しみにしていた総合開会式が降雨により規模を縮小して陸上競技場から体育館に変更され実施、残念ながら参加(観戦)できませんでした。

翌日、会場を湯梨浜市泊にあるグラウンド・ゴルフのふる里公園「潮風の丘とまり」に移動し実施した。天然芝の整備された素晴らしいコンディションのコースで2ラウンド3交代で交歓の輪に花を咲かせました。コースは丘の上にあるため、日本海からの吹上をまともに受け寒さに耐えながらのプレーでした。2日目、昨日の結果が会場内に張り出され、本人も驚きましたが男子1位となり嬉しさを隠しきれずにいました。「今日は多たきしないように」と心に決めスタートしたところ、いきなり"ホールインワン"テンション上がりましたネ、これはこれはもしかしたらいけるかなと頭をよぎった。だんだんプレーにゆとりができたのは同伴のプレーヤーからも激励を受け、終始、楽しくプレーできたので初めてのメジャー優勝のタイトルを手に入れました。宿での夕食時には他県の方々からも祝福を受けたり、又、宿の女将からも乾杯のワインを戴く等いっしょに盛り上がり優勝の実感を味わえることが出来ました。この優勝でグラウンド・ゴルフの特徴である、ゲームが終わるまで「誰が勝つかわからない」ということを痛切に感じた所です。また、この大会を振り返ると、私には、「運」「まぐれ」を多くいただいたのだと思いました。さらにラッキーなことに東京のプレーヤー仲間が同じコースの中に多く組まれていてプレー中、お互いに声を掛け合いすることでリラックスできたこともスコアメイクの一因があったと思いました。

終わりに、東京都スポーツ協会及び東京都グラウンド・ゴルフ協会には参加推薦の機会を戴きましたことに感謝の気持ちで一杯です。

グラウンド・ゴルフ 鳥羽 紀子さん

年度初めにR6年度の全国大会要項が「GGたより」で発表され、今年は鳥取県で開催されると分かった時に「行けたらいいな」と勝手に決めていました。山陰地方はまったく縁のない土地でしたが息子家族が転勤で島根県に7年間暮らしていたこと、鳥取には仲良しの知人がいて、この両県は馴染の土地となり、クラブとボールを持って出かけてはGG会場を見つけてプレーを楽しみました。コロナ前には泊でのGG発祥地大会に3年間参加しました。是非「ねんりんピックに参加したい」夢がとうとう実現することになりました。

鳥取県内19市町村で29種目の多彩なスポーツ・文化交流大会に全国から60歳以上の高齢者が何万人も総合運動公園に集いました。

楽しみにしていた陸上競技場での総合開会式が雨のために近くの体育館で規模を縮小して開催されたために代表者以外は参加できず本当に残念でした。翌日から湯梨浜市に移動してGG発祥の地・泊での交流大会が始まりました。全国から400名弱の参加者が3つのグラウンドに分かれて真下に雄大な日本海が見渡せる丘でプレーをしました。1日目はすごい強風の中で寒さに震えながら、2日目は快晴の青空の下でとても気持ち良く〜対照的な天候の下でのプレー日和(?)でした。

いよいよ待望の表彰式では東京都GG事務局長の緒方正幸様がHワン5つ出してダントツのスコアで優勝、東京都代表選手団から歓声が上がりました。日頃、ジョウダンとダジャレで私達を楽しませながらお世話をして下さる緒方さんのご活躍を目の前で見せて頂けたのは本当に嬉しくて幸せなことでした。

ご一緒したお仲間12名の皆様とも和気あいあい楽しい5日間でした。今回の大会に参加の機会を与えて下さった東京都GG協会の皆様にも有難く、心より感謝申し上げます。

ソフトボール 内山 政直さん

【大会出場まで】

シニア八王子チームは、昨年の秋24チーム参加して開催された武蔵村山市総合運動場での予選に勝ち、東京都代表して、「ねんりんピック鳥取 2024種目:ソフトボール大会」に参加することができました。

仕事継続中の世代が多いですが、地域活動に従事している含め部員36名、ソフトボール中心?の生活を過ごしています。開催地は訪れる機会が少ない中国地方山陰 鳥取、全国64チームのソフトボール仲間と出会う喜びもあり、令和6年の長い夏は「熱中症」にも配慮し、「真っ黒」になりながら、練習に耐える事ができたと思います。

【大会出場】

八王子～羽田～岡山～鳥取～米子へ、飛行機、バスを乗り継ぎ、米子海辺の皆生(カイケ)温泉に到着。

翌日は、宿から約20分「南部町民運動場」へ着き、監督会議で会話出来た「長崎/甲府」両監督から応援を貰いましたが、北九州チームに敗退、歓喜試合では、高知県チームに勝利することができました。

お酒の飲み過ぎも反省していましたが、会場もよく整備された中で、地元の方々から熱い声援と、温かいもてなしを受け、後遺症少なく元気にプレーができ、東京から米子の地へ1泊で応援に来てくれた部員、八王子に残った部員からLINE応援をも貰い、チーム全体で試合ができました。

個人的には、

- ①新米監督のきこちなない采配に対して、プレーで応えてくれた14名選手への感謝、
- ②郷里の静岡で50年以上一緒にプレーしていた高校野球児に会えた感激、更に
- ③試合中一塁側フェールグラウンドネット後方で、役員としてゲームを観戦しながら真剣にボールの行方を追っていた、地元中学三年生女子ソフトボール部員と、バッティングについて会話する機会も有り楽しい思い出です。

【大会後】

他のソフトボール大会とは異なり、地域見学を楽しめる「ゆとり」のねんりんピックへ2年後も出場する為、体力の維持、家族及び職場からの支援を貰い、来年の都予選突破を目標に頑張りたいと思います。大会準備段階から結団式、解団式まで色々な方面でサポートして下さった各位に感謝申し上げます。



第36回全国健康福祉祭 とっとり大会 (ねんりんピックはばたけ鳥取2024) 東京都選手団成績一覧

次年度以降の「ねんりんピック」開催予定

- 2025年 第37回 岐阜県
- 2026年 第38回 埼玉県
- 2027年 未定

種目	チーム名	成績(出場区分)		選手氏名等(敬称略)
		種別	結果	
卓球	東京都A	団体戦	優秀賞(1位グループ)	
	東京都B	団体戦	ご健闘いただきました	
テニス	東京都A	団体戦	優秀賞(1位グループ)	
		—	高齢者賞	勝山 智子
ソフトテニス	東京都A	団体戦	優秀賞(1位グループ)	
	東京都B	団体戦	優秀賞(2位グループ)	
ソフトボール	シニア八王子クラブ	団体戦	ご健闘いただきました	
ゲートボール	東くるめ	団体戦	優勝	
	立川こぶし	団体戦	優秀賞	
	足立ドリーム	団体戦	ご健闘いただきました	
	大輝	団体戦	ご健闘いただきました	
	栗原友の会	団体戦	ご健闘いただきました	
ペタンク	深川プライム	団体戦	ご健闘いただきました	
	はむらB	団体戦	ご健闘いただきました	
ゴルフ	チームTOKYO-A	団体戦	優秀賞	
		個人戦	準優勝(60歳～64歳)	谷口 修
ゴルフ	チームTOKYO-B	団体戦	ご健闘いただきました	
		個人戦	優秀賞(60歳～64歳)	井上 浩司
マラソン	東京都	個人戦	優秀賞(10km男子 70歳以上)	馬込 和明
		個人戦	優秀賞(5km男子 70歳以上)	張替 鋼一
		個人戦	優勝(3km男子 70歳以上)	橋本 勝行
		個人戦	第3位(10km女子 60～69歳)	本山 睦美
		個人戦	第3位(5km男子 60～69歳)	磯間 浩幸
		個人戦	優勝(5km女子 60～69歳)	谷 真美
		個人戦	準優勝(3km女子 60～69歳)	馬淵 敦子
弓道	東京都Aチーム	団体戦	ご健闘いただきました	
	東京都Bチーム	団体戦	ご健闘いただきました	
剣道	東京都A	団体戦	ご健闘いただきました	
	東京都B	団体戦	ご健闘いただきました	
ローイング	東京選抜	団体戦	ご健闘いただきました	
水泳	東京都	個人戦	優勝(50m背泳ぎ男子 60～64歳)	秋山 由則
		個人戦	第3位(50mバタフライ男子 60～64歳)	森山 雄二
		個人戦	第2位(50m背泳ぎ女子 60～64歳)	近藤 志津世
		個人戦	第3位(50m平泳ぎ女子 60～64歳)	笠井 孝子
		個人戦	第2位(50m自由形女子 60～64歳)	石原 なおみ
		個人戦	第3位(25m背泳ぎ女子 60～64歳)	近藤 志津世
		個人戦	第3位(25mバタフライ女子 60～64歳)	三浦 由香
		個人戦	第3位(25m自由形女子 60～64歳)	石原 なおみ
		団体戦	優勝(100m混合フリーリレー 280歳以下)	
グラウンド・ゴルフ	グラウンド・ゴルフA	個人戦	優勝(男性の部)	緒方 正幸
	グラウンド・ゴルフB	個人戦	ご健闘いただきました	
サッカー	東京A	団体戦	第3位(Oブロック)	
	東京B	団体戦	準優勝(Dブロック)	
ソフトバレーボール	ドロップス	団体戦	ご健闘いただきました	
ウォークラリー	東京下町小松菜チーム	団体戦	優秀賞	
太極拳	チーム武蔵野	団体戦	ご健闘いただきました	
	チーム多摩山桜	団体戦	ご健闘いただきました	
バウンドテニス	でこ・ぼこ・ぼこ東京	団体戦	ご健闘いただきました	
	花の都東京	団体戦	優秀賞(3位グループ 団体ダブルス戦)	
		団体戦	優勝(チーム別対抗BTラリー戦)	
	—	最高齢者賞	武田 東枝	
ダンススポーツ	東京都Aチーム	団体戦	準優勝	
		個人戦	優秀賞(ラテンの部(チャチャチャ))	前田 信春 松本 弓子
	東京都Bチーム	団体戦	優秀賞	
		個人戦	優秀賞(ラテンの部(ルンバ))	上遠野 治 大庭 一枝
囲碁	東京A	団体戦	ご健闘いただきました	
		個人戦	全勝賞(絶唱ブロック)	中條 京子
	東京B	団体戦	ご健闘いただきました	
		個人戦	優秀賞(衫神社ブロック)	榊原 瑞夫
将棋	東京A	団体戦	ご健闘いただきました	
		個人戦	第3位(巨峰ブロック)	宮崎 武男
将棋	東京B	団体戦	優秀賞	
		個人戦	第3位(甘酒ブロック(白))	北岡 憲
健康マーじゃん	東京都A	団体戦	ご健闘いただきました	
		個人戦	第3位(甘酒ブロック(白))	北岡 憲
	東京都B	団体戦	優秀賞	
個人戦		準優勝(おやきブロック(緑))	村井 博哉	
eスポーツ	健康ゲーム倶楽部 西東京	団体戦	ご健闘いただきました	
		—	最高齢者賞	豊富 満子
		—	高齢者賞	植田 和子



総合開会式



ソフトテニス



ペタンク



弓道



剣道



サッカー

※個人戦その他個人の表彰者のみ氏名を掲載
※年齢は令和7年4月1日時点の満年齢

今大会

- 優勝:7 ●準優勝(第2位):7 ●第3位:10
- 優秀賞:17 ●全勝賞:1人
- 最高齢者賞:2人 ●高齢者賞:2人

※前回大会

- 優勝(全勝):9 ●準優勝(第2位):2 ●第3位:3
- 優秀賞:18 ●高齢者賞:3人 ●特別賞:1人